

H29病床機能報告と必要病床数を比較し「過剰」となる機能を増床する増床する場合の理由等

資料 1 - 3

【安房保健医療圏】

No.	医療機関名	H29病床機能報告と2025年の方針の比較										理由			
		高度急性期 (不足)		急性期 (過剰)		回復期 (不足)		慢性期 (過剰)		計			休棟等		
		2017	2025	2017	2025	2017	2025	2017	2025	2017	2025				
1	医療法人光洋会三芳病院			21						21		21			
2	鴨川市立国保病院			52	20	30	18	20	70	70					

注) 各機能の過剰・不足は、平成29年度病床機能報告の集計値と2025年の必要病床数の単純比較であり、増床理由確認の目安としている。

「2017」欄は平成29年度病床機能報告の結果を、「2025」欄は各医療機関の2025年の見込み数を記載している。
機能転換、増床、再稼働の別によらず、「過剰」となる機能の病床数を増やす方針の医療機関を掲載している。

休床だったものを再開するもの
地域医療構想との整合及び病床稼働率の向上を図るとともに収益確保のため、急性期病床を52床から20床へ、回復期病床(地域包括77病床)を新たに30床、慢性期病床を18床から20床へと病床転換を図るためである。